



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第96号
令和5年2月15日

河津町議会だより

定例会は年4回



新年のご挨拶..... 2～3
 定例会..... 4
 臨時会..... 5
 一般質問..... 6～12
 議会改革【議会の運営】..... 14
 議会の動き・一部事務組合..... 15
 私も一言・編集後記..... 16

河津町消防団 出初式 パレード



河津町議会
WEBサイト

第2常任委員会



宮崎 啓次 委員、稲葉 静 委員、大川 良樹 委員
上村 和正 委員長、正木 誠司 副委員長

第1常任委員会



渡邊 弘 委員、北島 正男 委員、遠藤 嘉規 委員
渡邊 昌昭 委員長、桑原 猛 副委員長

2023年 本年もよろしくお願ひ申し上げます



左上から 桑原 猛 議員、北島 正男 議員、渡邊 弘 議員、宮崎 啓次 議員、正木 誠司 議員
左下から 稲葉 静 議員、渡邊 昌昭 議員、遠藤 嘉規 議長、大川 良樹 副議長、上村 和正 議員

年頭のあいさつ

河津町議会議長 遠藤 嘉規

新年あけましておめでとうございます。平素より町議会活動に対し、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の議会は、改選がありました。改選にあたり活動を振り返り、議員定数の削減を行いました。

その過程の中で、私たち町議会議員の活動や議会の活動等について「何をしているのか分からない」「どう役に立っているのか分からない」「等の厳しい意見も頂戴しました。そういう

ご意見を念頭に、議会の活動見直しを行い、議会改革を進めています。

議会改革といいますが、議会の内部を変えるだけと思われがちですが、議員活動の基本に返り、町民の代弁者として、町政に活かす活動を実践していこうとしています。

その第一歩として、12月議会において広報活動の常任委員会化を行いました。

天城峠区間の早期着工、早期開通は私たちの生活に直結した大きな課題であります。我々の声を幾度となく国へ届けることで確実にスピードアップが出来ると思う話も聞いています。これから、我々の思いの強さを表す場面だと思えます。

今後とも議会・議員活動に注目いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

広報常任委員会は、町民の皆様により近い議会を目指して情報発信に取り組んでまいります。

今後、町民の皆さまの中に出向き、ご意見を頂戴して町政に意見していきたいと考えていますので、そのときにはお気軽に参加いただき、ご意見を頂ければと思います。

また、今年は議会の活動として、伊豆縦貫自動車道の天城峠区間の計画進捗に強く働きかけしていきたいと思えます。

11月22日
・議員月例会

河津町第5次総合計画について、これまでの実践状況を企画調整課長より説明を受けた。

第1常任委員長の抱負

渡邊 昌昭

第1常任委員会は、町の財政や条例、計画、広報、税務、住民、健康福祉など、町民の皆様に関係する業務を担う委員会です。

また、町の将来への方向性を担う委員会でもあり、町民の皆様の生活が少しでも改善されるよう委員会活動を活性化し政策提案をしていきたい。

第1常任委員会とは

総務課・企画調整課・

町民生活課・健康増進課・福祉介護課に関する事業に対して審査と調査を行う委員会。

主な活動報告

- 10月17日
・国保運営協議会委員研修会（静岡市）
- 10月、12月
・委員会開催（3回）
- 11月21日
・河津町都市計画審議会（委員長）

これまで第1常任委員会で検討し、方向性が見えてきたものに公共交通があります。引き続き、町の実情に合った公共交通のあり方を検討し、町に提言していきます。

第2常任委員長の抱負

上村 和正

第2常任委員会は、町内の産業振興、農業委員会、公共工事、水道温泉事業、教育、防災等に関する町民生活の仕組みを守り生活基盤を担う委員会です。特に経済活動に重きを置き、委員会としてチェック機能を果たし政策提案をしていきたい。

第2常任委員会とは

産業振興課・建設課・

防災課・水道温泉課・教育委員会に関する事業に対して審査と調査を行う委員会。

主な活動報告

- 10月24日
・第2回河津町学校給食運営審議会（正副委員長）
- 10月25日
・委員会開催
- 11月21日
・河津町都市計画審議会（委員長）

今後の活動について

コロナ禍で疲弊した町内各種産業の活性化のため、町単独だけでなく関連各種団体や近隣市町との連携も視野に入れた取り組みについて常任委員会として検討し、町に提言していきます。

令和4年第4回 河津町議会定例会（抜粋）

令和4年第4回定例会が12月6日～12月7日の日程で開催された。人事案件2件、条例案件3件、契約案件1件、指定金融機関の指定案件1件、規約変更1件、補正予算3件、指定管理者の指定案件1件が上程された。また、議員発議による条例案件1件が上程され、すべて原案通り同意承認可決された。広報常任委員の選任も行われた。



岸 重宏 町長

行政報告（抜粋）

- 証明書コンビニ交付
令和5年1月4日から、町民がマイナンバーカードを利用し、全国のコンビニエンスストア等で住民票の写し・印鑑登録証明書・所得証明書・課税証明書・所得課税証明書・納税証明書を取得できる。
- 地域子育て支援センター
11月6日から「かわづっこひろば」の運営開始。
- 生活応援ガソリン券発行
11月7日からプレミアム率100%のついた「河津町生活応援ガソリン券」を3000冊発行した。

可決された議案（抜粋）

- 河津町教育長の任命
鈴木 基（下峰）
- 固定資産評価審査委員会委員の任命
遠藤 照之（見高人谷）
- 河津バガテル公園の指定管理者の指定
令和5年度から株式会社共立メンテナンスに選定。

- 河津町消防団条例の一部を改正
令和5年4月から第1分団と2分団、第11分団と第12分団を統合し、団員定数を削減する。
- 河津町消防団員の報酬等に関する条例の一部を改正
消防団員の処遇改善を図るため、実態に応じた適切な報酬及び費用弁償の



見直し。

入札結果一覧（行政報告から）

入札日	建設工事等の名称	受注者	契約金額(円)
8月26日	町有自動車購入	黒田自動車駅前工場	2,409,00
9月28日	浜地区道路施設改修工事	有限会社加畑組	3,916,00
"	河津町道路台帳更新業務委託	株式会社パスコ静岡支店	2,310,00
10月5日	防災拠点施設（長野地区）建築設計業務委託	一級建築士事務所野田建築設計事務所	17,820,000
"	防災拠点施設（長野地区）地質調査業務委託	株式会社ジーベック沼津営業所	6,050,00
10月28日	普通河川藤ヶ野川暗渠調査業務委託	株式会社ウインディーネットワーク	4,400,000
10月31日	河津町立南小学校鉄庫購入	株式会社金指商会沼津営業所	880,000
"	河津町スクールバス運行業務委託	株式会社伊豆バス	46,200,000
11月30日	普通河川縄地川浚渫工事	斉藤土木株式会社	3,080,000
"	普通河川沢田川浚渫工事	さくら建設株式会社	3,630,000
"	普通河川洞川護岸嵩上げ工事	東海建設株式会社	2,915,000
"	松くい虫等防除事業業務委託（予防剤注入）	株式会社松田屋	1,186,900

令和4年第2回河津町議会臨時会 第17期河津町議会前期 新体制決定

10月11日に役場議場にて臨時会が開催された。この臨時会は任期満了に伴う改選後の議会（初議会）で、議会の人事構成が行われた。

議長

遠藤 嘉規

副議長

大川 良樹

監査委員

稲葉 静

第1常任委員会

委員長

渡邊 昌昭

副委員長

桑原 猛

委員

北島 正男

委員

遠藤 嘉規

委員

渡邊 昌昭

委員

大川 良樹

議会広報編集委員会※

委員長 桑原 猛

副委員長

北島 正男

委員

大川 良樹

委員

渡邊 昌昭

委員

上村 和正

委員

下田 誠司

委員

伊豆斎場組合

委員

正木 誠司

委員

上村 和正

委員

大川 良樹

委員

渡邊 昌昭

委員

桑原 猛

委員

北島 正男

※：令和4年第4回定例会にて議員発議により、広報常任委員会となりました。

一部事務組合委員

伊豆斎場組合

正木 誠司

上村 和正

下田地区消防組合

渡邊 昌昭

宮崎 啓次

下田メデイカルセンター

桑原 猛

渡邊 昌昭

東河環境センター

北島 正男

大川 良樹

稲葉 静

その他、専決案件1件、議員発議による条例改正1件を承認可決した。

専決案件の内容は、新型コロナウイルスワクチン接種（二価ワクチン）対応の補正予算。

第3回 臨時会

10月25日に役場議場にて臨時会が開催された。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金追加に伴う、補正予算1件が上程され、可決した。補正予算の主な内容は、プレミアムガソリン券の発行等。

第4回 臨時会

11月25日に役場議場にて臨時会が開催された。条例案件2件、補正予算4件が上程され、可決した。条例及び補正予算の主な内容は、人事院勧告による職員給与の改定。



新型コロナウイルスワクチン接種会場



河津町役場庁舎

町政を問う

一般質問



うえむら かずまさ 議員
上村和正

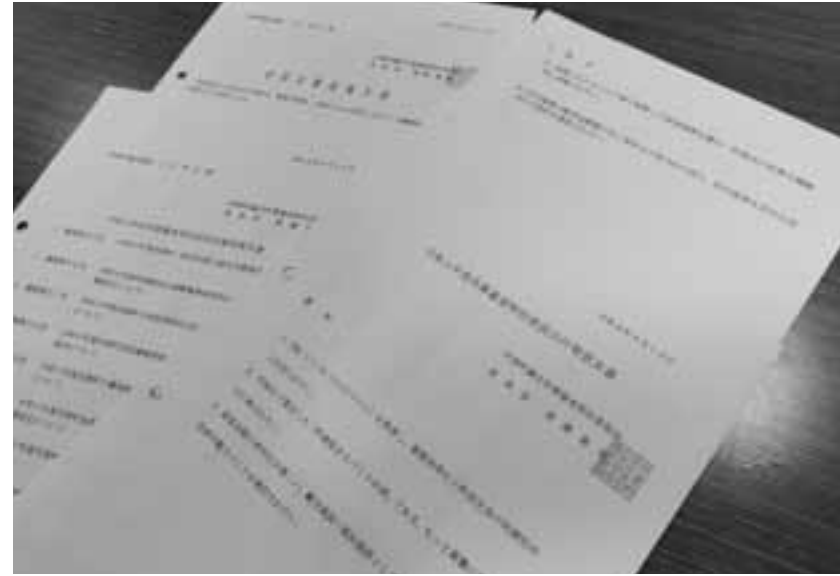
動画にて議会の様子がご覧頂けます



七滝観光センター跡地

町政を問う

一般質問



令和4年度予算・令和3年度決算・審査特別委員会付帯意見



わたなべ ひろし 議員
渡邊弘

動画にて議会の様子がご覧頂けます



特別委員会の付帯意見をどう受け止めているか

答え 法的拘束力は無いが重要な意見と受け止めている

質問 議会から予算、決算審査特別委員会の付帯意見が提出される。町はどう受け止めているか。

町長 法的拘束力は無いが住民を代表する議会の意見なので重要な意見として受け止めている。

質問 法的拘束力は無いが、意見に対してどのように取り組んでいるのか。

町長 町の政策を進める中で、議会、町民団体、委員会、事業内容の新設見直しなどを行う過程の中で、議会の意見もその一つとして。毎年制度設計のヒアリングを行っている中で各課の政策管理に反映している。

町長 議会の意見なので重要と受け止めている。制度設計の中で、議会だけでなく町民の要望、各種団体の要望もある。政策を作る中で反映していきたい。

子どものインフルエンザ予防接種助成事業は

答え 任意接種であり取り組まない

質問 県は令和4年度に限りインフルエンザ予防接種事業に助成金を実施している。コロナとインフルエンザの同時感染は重篤な状況が考えられる。町としてどう対応しているのか。

町長 県の助成事業は、感染や重症化防止のため年齢を限って行っている。健康増進課長 対象となる

町長 県は令和4年度に限りインフルエンザ予防接種事業に助成金を実施している。コロナとインフルエンザの同時感染は重篤な状況が考えられる。町としてどう対応しているのか。

町長 賀茂圏内の市町により予防接種助成に違いがある。下田市と河津町には助成事業がない。町においては子育て政策に重点を置いているが助

町長 県は令和4年度に限りインフルエンザ予防接種事業に助成金を実施している。コロナとインフルエンザの同時感染は重篤な状況が考えられる。町としてどう対応しているのか。

町長 賀茂圏内の市町により予防接種助成に違いがある。下田市と河津町には助成事業がない。町においては子育て政策に重点を置いているが助

他「河津バガテル公園指定管理者公募について」1件

七滝観光施策は

答え 施設整備に取り組みたい

質問 釜滝のつり橋とエビ滝橋はいつ開通するのか。

町長 観光地域づくり整備事業補助金を活用するためには、エリア計画との整合性が求められることから地域エリア計画の策定が必要条件となっていた。令和4年3月に観光エリア計画が策定され、

町長 観光地域づくり整備事業補助金を活用するためには、エリア計画との整合性が求められることから地域エリア計画の策定が必要条件となっていた。令和4年3月に観光エリア計画が策定され、

町長 観光地域づくり整備事業補助金を活用するためには、エリア計画との整合性が求められることから地域エリア計画の策定が必要条件となっていた。令和4年3月に観光エリア計画が策定され、

町長 観光地域づくり整備事業補助金を活用するためには、エリア計画との整合性が求められることから地域エリア計画の策定が必要条件となっていた。令和4年3月に観光エリア計画が策定され、

町長 観光地域づくり整備事業補助金を活用するためには、エリア計画との整合性が求められることから地域エリア計画の策定が必要条件となっていた。令和4年3月に観光エリア計画が策定され、

第3次温泉給湯は

答え 検討を進めている

質問 方向性及びスケジュールは。

町長 令和13年で終了期限を迎える。すぐ見直した上で継続したいと考えている。水道温泉課と産業振興課、企画調整課を交えて調整会議を行い、現在副町長を中心に検討を進めている。

町長 検討事項は。人口減少問題、需要の見込み、源泉所有問題、エリアの問題、管の老朽化問題、新たな施設の投資の問題等多岐にわたる。

副町長 温泉の集中管理事業は、配管の老朽化問題や踊り子温泉会館の老朽化、源泉の管理、利活用など関係各課で情報を共有し対策を講ずるべく10月に調整会議を開催した。その中で現状を把握し、持ち寄った課題を整理して、今後どのようにしていくべきかのたたき台をつくり、それぞれの担当課の委員会等で協議し町の方針を決定してい

副町長 温泉の集中管理事業は、配管の老朽化問題や踊り子温泉会館の老朽化、源泉の管理、利活用など関係各課で情報を共有し対策を講ずるべく10月に調整会議を開催した。その中で現状を把握し、持ち寄った課題を整理して、今後どのようにしていくべきかのたたき台をつくり、それぞれの担当課の委員会等で協議し町の方針を決定してい

副町長 温泉の集中管理事業は、配管の老朽化問題や踊り子温泉会館の老朽化、源泉の管理、利活用など関係各課で情報を共有し対策を講ずるべく10月に調整会議を開催した。その中で現状を把握し、持ち寄った課題を整理して、今後どのようにしていくべきかのたたき台をつくり、それぞれの担当課の委員会等で協議し町の方針を決定してい

町政を問う

一般質問



おお かわ よし き 大川 良 樹 議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます



販売初日で完売した「河津町生活応援ガソリン券」

町政を問う

一般質問



維持管理の課題が残る東小学校校舎



くわ はら たけし 桑 原 猛 議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます



質問 公共建物の維持管理の今後は

答え 必要に応じて個別に整備計画を進めていく

質問 直近の課題である閉校する校舎の維持、管理についての考えは。

町長 町の保有か、民間事業者等の事業に活用するのかが決めた上で、進入路等の幅員確保の問題を検討するため、今のところ決定時期は未定。当面の活用については、従来の広域避難場所として

活用を継続する。

質問 公共施設総合管理計画を生かすために橋梁点検のような点検サイクルを実施し、公共施設の修繕、改修、改築の時期を平準化に結びつけるべきでは。

町長 現状では今のところ考えていないが、今後、必要に応じて個別に策定

する中で計画を進めていく予定。既に橋梁長寿命化修繕計画、学校施設長寿命化計画、公共施設個別管理計画など策定済み。適切な維持管理を進める。

質問 維持管理には職員にも専門知識が必要では。

町長 技術者を確保するため社会人枠や年齢引上等条件を付加し募集する。

質問 観光地としての道路周辺の整備の考えは

答え 道路景観が重要、協定等の仕組みづくりが必要

質問 伊豆縦貫自動車道が一部開通する同時期に、国道135号が開通された頃の景観も復活することも集客の一環と考えるが。

町長 観光地として道路景観が大変重要な部分である。県は災害対策としての予防伐採で、国道部分の樹木について伐採事業を行っている。町は業

務員を1人とシルバー人材の方とで道路の除草の部分管理を行っている。

質問 道路管理者も県と町とある中、町として温水を利用した除草作業など新技術の導入の検討など補助的に提案できないか。また温泉を利用した除草技術の実験、検証などできないか。

町長 具体的な実証や効

果が発揮できれば検討することも必要。新たな手法は、業者の実績を見ての判断となる。

質問 民間事業者が地域の景観美化に貢献する仕組みはあるのか。

町長 協定書や、支援協定等の仕組みづくりが今後の活用の仕方かと思う。

質問 田中の中心部を走るアクセス道の事業推進は

答え 地元を含めて相談していきたい

質問 10月に行った県への直接要望の目的は。

町長 伊豆縦貫自動車道路天城峠区間の早期事業化、台風8号による河津川護岸の早期改修とその他の護岸崩落箇所改修と点検要望、また大鍋地区星原の河川崩落等の被害箇所早期復旧と抜本的な対策の検討要望を行った。

質問 町は、国県に對しどのような要望活動をしているのか。

町長 縦貫道推進に関しては近隣市町で構成する期成同盟会で行っている。今回のように町民生活に関わる重要な要望については、今後も官民一体となって国や県に直接要望することが大事である。

質問 田中の中心部を走るアクセス道路の事業推進について町長の見解は。

町長 一般的に中央道と言われる伊豆縦貫道につながる路線の話だと思いが、来年度予算のなかでどんなことが予算化できるのか、今後、地元を含めて相談しながら進めていきたい。

質問 プレミアムガソリン券、第2弾の検討は

答え ガソリン券としては、現状考えていない

質問 町に對する要望活動の状況とその対応は。

総務課長 町に對する要望については、関係課で内容を精査しながら、内容によっては庁内で協議等を行い、できるだけ要望に答えられるよう対応に心がけている。

質問 町に對する要望活動の状況とその対応は。

町長 議員説明会のなかで、当初2000人分だったものを利用が見込まれるというところで、1000人分増やし3000人分に対応した。この交付

金を使う期限等の問題もあり第2弾については考えていない。

質問 コロナ禍で、昨年、3億5722万円も財政調整基金を積んでいるから町単費での検討は。

町長 必要なら交付金に頼らず、財政調整基金の予算を出すことも考えるが、ガソリン券としては考えていない。

町政を問う

一般質問



わたなべまさあき 議員 渡邊昌昭

動画にて議会の様子をご覧頂けます



ジョイント仕立てによる河津桜の育成

質問 河津桜切り枝の生産補助制度が始まり3年がたった。栽培方法等の指導や生育状況の把握を町はしているのか。

町長 研究会をつくり商品化を目指しているが商品価値が上がっていない。

産業振興課長 町と県農業研究センターの指導の下、ジョイント仕立てで

行い剪定や接ぎ木を講習会的に行っている。

質問 商品価値を上げるため開花時期の調整はできているのか。これを機に農産物のブランド化を目指し、シール等でアピールの後押しはできないか。

産業振興課長 薬品を使用する等開花方法について一定のものは確立して

いる。商品化に向け、研究会の中で情報交換しながら行っていきたい。各方面と情報交換し、河津の生産物、加工食品などマーケティングやシールなどの試みもできたらと考えている。

他「犬・猫（地域猫）」について」1件

答え 研究会の中で情報交換し行っている

質問 河津桜切り枝の出荷の支援は

質問 農業者に対するコロナ禍における「原油価格・物価高騰緊急対策」の対象となる農業者・支援の期間・方法は。

産業振興課長 JAふじ伊豆の正組合員であり、販売実績のある方、正組合員が属する町内法人を対象とする。令和4年中のJAで購入した飼料・肥

料・農薬・資材・農機具・石油等を対象品目とする。対象金額は令和4年中の値上げ率を確定し、品目ごとに差額を計算し値上げ額の70%を乗じた額を助成する。

質問 出荷運賃値上げの助成や今後の肥料等に対する町の考えと町独自の支援の対策はないのか。

産業振興課長 出荷運賃については運輸分野への助成は対象としていない。肥料の高騰対策は国の支援対策だが既に始まっている。町独自では「泊ってくれてありがとう！」キャンペーン事業として宿泊客に地元の農産物等をプレゼントする観光協会の補助事業をしている。

答え 農協を通じ、組合員に差額の7割を助成する

質問 農業者へのコロナ禍の緊急対策の内容は

質問 2000人の大サンプルアンケートの結果と全体概要は。

建設課長 アンケートは、集計中で公表はまだ先になる。計画は、基本方針と、計画区域や行為制限などが構成要素となり、アンケートの結果は町民の意向として反映させる。

質問 今後、町民の意見、提案、ヒアリングの実施

は。

町長 進捗によりアンケート結果や計画に対するパブリックコメントを求める機会を設ける。この計画は、景観を害する事象への抑止力になることも付け加えておく。

質問 広大な土地、山、海の一等地、水源地、温泉源地の購入と利用を制限するために、外資の不

動産取得制限を盛り込むのか。

町長 外資や外国人に限っての制限は、法的な観点で難しいと思う。

建設課長 法律上も景観法上も直接売買制限を盛り込むことはできない。

他「役場での障害者雇用率と、通所・就労の支援策について」1件

答え 景観計画の策定に向け、2年間かけて取り組む

質問 景観行政団体の河津町について伺う

質問 高齢者施設の受け入れ態勢や増床の強化は。

町長 高齢者福祉計画等3件の高齢者対応策を進めていく。

福祉介護課長 人口減少による担い手不足もあり、増床は難しく、既存施設の維持強化と介護予防を一体に整え対応していく。

質問 介護士不足の解消と介護予防活動の維持は。

町長 介護士不足は民間が主。町は予防が主で介護予防センター的な施設をつくり、町民の健康長寿を図りたい。

福祉介護課長 多くの関連団体と協働し介護士確保へ取り組み。介護予防ボランティアに関しては、地域ケア会議にて高齢者支援体制の充実を図る。

質問 民間による介助

サービス事業のフォローは。

町長 町と民間の役割を考え状況把握している。

福祉介護課長 経営状況の把握まではしていないが、自費利用サービスの事業内容は把握している。今後も情報収集と伝達により利用促進を図っていく。

質問 2025年問題の介護事業への対応について伺う

答え 大きな課題。様々な活動で健康寿命を延ばすことも大事

2025年問題とは？

2025年問題とは、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、5人に1人が75歳以上という超高齢社会に突入し、医療や介護の社会保障費の増大が懸念される問題。

介護の問題

「要介護」の高齢者が急増する一方で、介護人材の不足が懸念されています。現在より介護士は約32万人不足。2025年には「介護難民」の急増が予測され、介護が必要な「要介護者」に認定されているにもかかわらず、施設に入所できない、適切な介護サービスを受けられないといったことが起こります。「介護人材の不足」「老老介護」「認認介護」は2025年問題において深刻な問題です。

2025年問題と介護士不足の問題とは。(厚労省サイトよりの抜粋)

質問 2000人の大サンプルアンケートの結果と全体概要は。

建設課長 アンケートは、集計中で公表はまだ先になる。計画は、基本方針と、計画区域や行為制限などが構成要素となり、アンケートの結果は町民の意向として反映させる。

質問 今後、町民の意見、提案、ヒアリングの実施

は。

町長 進捗によりアンケート結果や計画に対するパブリックコメントを求める機会を設ける。この計画は、景観を害する事象への抑止力になることも付け加えておく。

質問 広大な土地、山、海の一等地、水源地、温泉源地の購入と利用を制限するために、外資の不

動産取得制限を盛り込むのか。

町長 外資や外国人に限っての制限は、法的な観点で難しいと思う。

建設課長 法律上も景観法上も直接売買制限を盛り込むことはできない。

他「役場での障害者雇用率と、通所・就労の支援策について」1件



きたしままさお 議員 北島正男

動画にて議会の様子をご覧頂けます



議会だより第96号 読者アンケート

締め切り
3月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

●送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。）

複数回答可)

- P. 2～3 新年のご挨拶
- P. 4 定例会
- P. 5 臨時会
- P. 6～P.12 一般質問
- P.14 議会改革【議会の運営】
- P.15 議会のうごき・一部事務組合
- P.16 私も一言・編集後記

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

- 1. 大変満足
- 2. まあまあ満足
- 3. もう少し
- 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「河津踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前	
ご住所	
連絡先	

無記名でも構いません。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会より改めてご連絡差し上げます。ここでいただきました個人情報、上記の目的以外に使用することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

町政を問う

一般質問



廃止されたバス路線を運行する町営バス



動画にて
議会の様子
をご覧いただけます



まさ き せい じ 議員
正木 誠 司

質問 公共交通の維持・向上は

答え 重要な課題。議会と一緒に研究し進めていきたい

質問 今後の公共交通のあり方について具体的方針は。

町長 過疎地域にとって重要な課題だと認識し色々な事業を展開しているが、有効な解決策が出てきていない状況。デマンドタクシーについて検討している。

質問 バス停まで遠い町

民への対策は。企画調整課長 運転ボラティアによる移動支援事業を今年度から立ち上げた。予約型のデマンドタクシー制度について、様々な問題点があるが今後検討する。

を中心として交通手段がない方が大変多くいる事を承知している。タクシーの活用が有効だと考える。企画調整課長 文部科学省が定める住民の利用に関する承認要領に沿って、また自主運行バスとの兼ね合いも考慮して、今後は地域公共交通会議で議論していく。

質問 旧南中学校跡地の活用は

答え 民間の力を活用して賑わいの創出を図る

質問 旧南中学校跡地利用検討にあたり民間の活用方法の検討がどのようになされたのか。

町長 公共施設整備計画推進委員会に諮問し、民間活用によるにぎわい施設の誘致との答申があり、プロポーザル方式での募集とした。観光や防災機能、

文化的な側面を考慮して募集したのか。

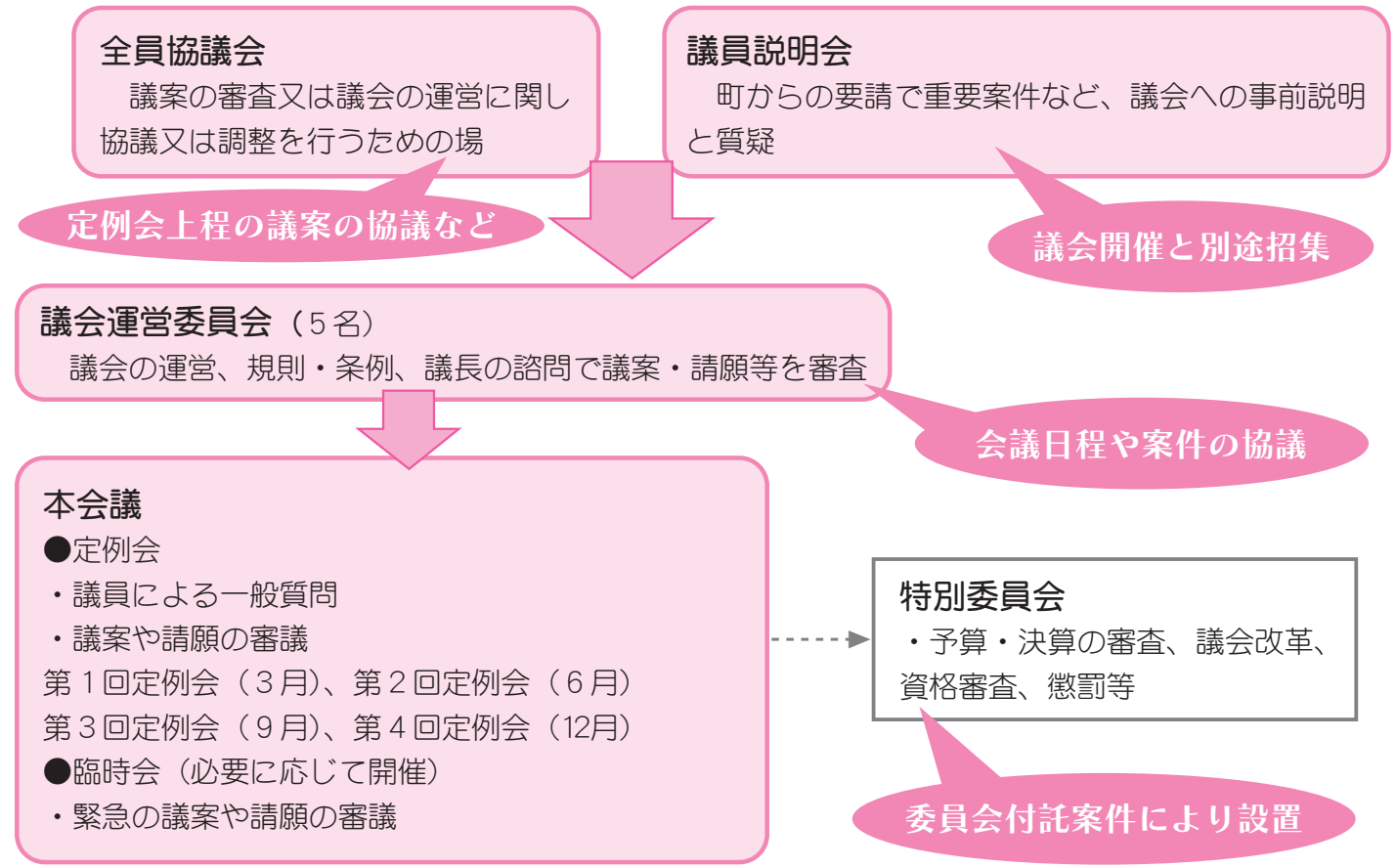
町長 プロポーザル方式で提案された町に有益な観光の面や色々と活用できるものがあれば、ご協力をお願いすることもできる。審査の中で検討する。

が出るのか。総務課長 締切りの2月10日まで期間があり、詳細等を詰める事も出来る。契約についても3月以降という最終的に少し延びた形の契約になるかもしれない。今後、調整をしながら進めていく。他「町長の施政方針について」1件

議会改革

議会の運営

議会改革の取り組みの一つとして議会の仕組みなどを紹介します。今回は、議会の会議の種類についてです。



委員会活動

第1常任委員会(5名) 委員会が総務・企画・町民・健康・福祉に関連したテーマを定め調査・研究を行う ※今期の活動内容は3ページを参照してください。	第2常任委員会(5名) 委員会が産業・建設・防災・教育・農委に関連したテーマを定め調査・研究を行う ※今期の活動内容は3ページを参照してください。	広報常任委員会(5名) (令和4年12月期に発足) ・議会だよりの作成(定例会ごと年4回) ・議会活動の広報(報告会等の開催) ・町ホームページ内の町議会ページ制作(会議結果・会議録・映像配信など) ・町民への取材 ・有線テレビへの放送依頼と調整
議員月例会 ・第1、第2常任委員会で交互に主催 ・本会議未開催月の議員の情報交換及び勉強会		その他の活動 ・講師を招いた研修会 ・町民との意見交換会・報告会



遠藤 嘉規 議長

議会の「ごきぎ

議会議長の活動

- 9月
 - 静岡県町村議会議長会 総会 (静岡市)
- 10月
 - 賀茂郡町議会議長会臨時総会 (西伊豆町)
 - 静岡県町村議会議長会 総会 (静岡市)
 - 静岡県町村議会議長会 議長県外調査(宮城県)
 - 河津町戦没者招魂祭
 - 県への要望活動 (静岡市)

議員の活動

- 9月
 - 「秋の交通安全県民運動」街頭広報
- 10月
 - 議員説明会
 - 議員月例会
 - 議会全員協議会
 - 議会運営委員会
 - 河津町商工会創立60周年記念式典

一部事務組合

下田地区消防組合

11月12日

- 第6回緊急消防援助隊全国合同訓練視察
- 南海トラフ地震で被災した静岡県への広域応援訓練のサテライト会場である下田会場で実施された緊急消防援助隊全国合同訓練を視察
- ヘリコプターによる救助訓練



消防船による海上からの放水訓練 (緊急消防訓練から)

- 河津町表彰式
- 第21回河津町青少年の主張大会
- 議員説明会
- 議会全員協議会
- 議会運営委員会
- 12月
 - 議会運営委員会
 - 例月出納検査結果報告書受領(8月~10月分)
 - 定期監査結果報告書受領(11月25日)



倒壊家屋からの救出訓練 (緊急消防訓練から)

東河環境センター

9月15日 第2回定例会

令和3年度東河環境センター歳入歳出決算認定。

10月19日 第2回臨時会

河津町議会議員の改選に伴い組合議会の副議長選挙が行われ大川良樹議員(河津町)が選任された。

～私モ一言～



支援員 土屋 眞 希

河津町地域子育て支援センター
「かわぶっこひろば」

「河津で子育て」

私の子育てが始まった20年以上前、子どもと家から出て遊ぶ場所は浜公園ぐらいでした。冷たい風が吹く中、頬を赤らめ遊ぶ子どもの姿を思い出します。その後、文化の家図書館ができた時は、天気を気にせず子どもと過ごせる場所ができて嬉しかったことを覚えています。

昨年11月、「かわぶっこひろば」がオープンしました。小学生に携わる仕事をしながら子育てボランティア活動をしてきた私は、ここで働くことが決まり、自分の経験を生かしたいというわくわくした気持ちと喜びを感じています。

今後、地域で活躍されている方々の協力のもと、季節が感じられる催しや親子で楽しめる活動を行っていきたく考えています。“ここに来ると安心できる”憩いの場になるよう毎日、元気に笑顔で皆さんをお迎えしますので是非遊びに来てください。



「かわぶっこひろば」支援員の皆さん



固定資産評価審査委員
遠藤 照之

「町の発展、地域に光と活力を」

3年前から発生したコロナ感染が今だに続いているが、今日では2年前と違いワクチン接種も浸透し、防止策を徹底すれば行動制限が大幅に緩和されてきている。今後、町内経済の活性化のためにも各種行事等の実施を望みたい。

町民の1人として、町の将来の発展・活性化を進めるにはどうしたら良いか考えてみたい。令和3年3月に発表された「河津町第5次総合計画」の早期実現に期待しています。この計画を実行していくには、町民の理解と協力が必要だと思います。

将来の町の発展・誇りを持てる町づくりを進めるには、いま河津町内の行政区（集落）に居住している地域の現実の課題・将来的な展望等の意見・要望に対し、地域（集落）で出来る事は地域で、出来ない事は行政で対応するようにしていく事が重要だと思います。



編集後記

議会広報編集委員会が常任委員会化されました。

より町民の皆様のご意見を取り入れ、また発信に努めてまいります。

「議会が何をやっているのかからしないのか」から「議会はこんなことをやっているのか」へと、ご理解いただけるようわかりやすくお伝えしていきます。

(桑原)



正木誠司委員
大川良樹委員
渡邊昌昭委員
北島正男副委員長
桑原猛委員長

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。